

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 令和4年10月31日（月） 午後2時
開催場所 那珂市議会全員協議会室
出席委員 委員長 寺門 厚 副委員長 原田 陽子
委員 大和田和男 委員 花島 進
委員 古川 洋一 委員 武藤 博光

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 萩谷 俊行 事務局長 会沢 義範
次長 横山 明子 書記 田村 栄里

会議に付した事件

- (1) 地域包括支援センターとの懇談会
…市内3事業所との懇談
- (2) 調査事項について
…懇談の振り返りと、PTA役員との懇談会の日程を決定
- (3) 議員と語ろう会について
…教育厚生常任委員会に該当する意見の仕分け
開会（午後1時58分）

書記 ただいまより、地域包括支援センターの皆様と那珂市議会教育厚生常任委員会の懇談会を始めます。はじめに、那珂市議会教育厚生常任委員会の寺門委員長より、ご挨拶申し上げます。

委員長 今回のコロナ禍で、縮小という方向でしたんですけどもね、依然として感染者が毎日多く出てますし、特に小学生中学生、それから子供さん、園児ですね、多いんで、学校を休まれている児童、生徒もたくさんいますんで、もう少し注意をしながら、しっかり対応していかなくちゃいけないかなという状況でございます。

今日はそういう中で、やはり高齢者の方も、新型コロナウイルス感染症が蔓延して、もう3年目になりますんで、どうも家に閉じこもってそのままというパターンが多くて、それぞれの方のフレイル化っていうか、どうも進行してるような気がしまして、それと、2025年の問題もございますんで、今、地域包括ケアシステム体制をとって、皆さん方の包括支援センターで最前線で活動されておりますので、そちらのほうの活動の内容等をお聞かせいただいて、それから皆様方も、課題なり、それから市への要望等もお聞きいたしまして、今いろいろと認知症の問題もそうですし、それから、後期高齢者医療問題も、介護保険の問題も、それぞれ保険者、高齢者の方々の負担が増えていくということもございますし、一方では皆さんがそれぞれ元気で、これからも

お過ごしいただくために、健康寿命延伸ということも、皆さん方も活動されておりますんで、その辺もあわせて、今後の那珂市の高齢化対策についていろいろと意見を交換したいなということで、今日の間を持たさせていただきました。

今日はよろしく願いいたします。

以上でございました。

書記 続いて萩谷議長よりご挨拶を申し上げます。

議長 改めて、皆さんこんにちは。市議会議長をしております萩谷と申します。

今、寺門委員長からありましたけども、今日は地域包括支援センターの皆さんと懇談ということで、有意義な実のある懇談になるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたしまして、簡単ですが、挨拶にかえさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

書記 ありがとうございます。

次に本日の出席者を紹介いたします。

まず、那珂市議会教育厚生常任委員会の出席者をご紹介します。

委員長のほうから順にお願いいたします。

委員長 委員長の寺門厚でございますよろしく申し上げます。

(原田副委員長から大和田委員まで自己紹介)

書記 続きまして、地域包括支援センターの皆様のご自己紹介をお願いいたします。

青燈会の萩谷さんのほうから順番にお願いいたします。

(青燈会、ゆたか園、ナザレ園の順に自己紹介)

書記 ありがとうございます。

最後に申し遅れましたが、私は、那珂市議会事務局の田村と申します。

どうぞよろしく願いいたします。

それでは早速でございますが、懇談のほうに入りたいと思います。

ここからは、懇談の進行は寺門委員長にお願いいたします。

(地域包括支援センターとの意見交換)

委員長 以上幾つか承りましたので、これから我々教育厚生常任委員会のほうで、一度情報の整理をしまして、執行部のほうへ提案したのもありますけれども、さらにもう一度ちょっとそれについては、進言というか、要望していきたいというふうに思いますので、ちょっと時間の都合であれなんですけれども、もし、まだまだあるようでしたら、遠慮なく我々のほうへ言っていただければ、いつでも動きますんで。

ということで今日短い時間なんですけれども、大変、包括支援センターの皆さんと話が出来て、また貴重なご意見もいただけて大変有意義な時間でございます。

以上で、懇談会を閉じさせていただきます。

最後に私どもの副委員長のほうからお礼の言葉ということで、お願いいたします。

副委員長 私のほうから簡単でございますけど、本当に地域包括センターの皆様、本日は

お忙しい中お越しいただきありがとうございます。

私もよく分からないところがすごく多かったところを、今回の件で現状とあと要望をきちんと把握出来、本当に感謝いたします。

今、介護の問題、高齢化の社会とかっていうことで問題になってる中で、私も団塊ジュニア世代として、これから何か介護に関して、きちんと把握していきたいと思ってますし、教育厚生常任委員会としてもきちんと把握し市のほうに要望等も伝えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは本日は誠にありがとうございました。

委員長 ありがとうございます。

書記 以上で懇談会を終わりにいたします。

本日は大変ありがとうございました。

委員の皆様は暫時休憩をいたします。包括支援センターの皆様はご退席をお願いいたします。ありがとうございました。

休憩（午後 3 時 38 分）

再開（午後 3 時 44 分）

委員長 それでは、再開いたします。

ただいま地域包括支援センターの皆さんと懇談ということで、終わりましたけれども、委員の皆さんからご意見等今の懇談の内容についてお伺いしたいと思います。

それでは、花島委員から感想でも、ご意見でも何でもいいんですけど。

花島委員 全体のシステムがよく分かってなくて、ただもう前から思ってるんですけど、本来、包括支援センターの仕事って市の職員でやるべきだと思ってます。ただ全体に市の職員の数を減らすっていう中で、外注されてるっていうのはやはり、いろんなところで問題が出るかなと思ってます。

意見にもありましたけど、市の職員って、ころころ異動しますよね。そうするとその専門的な能力とか知見が余り育たない傾向があると。

でも、那珂市はほかと比べて、土木等建設関係はほかよりも、何ていうかな、まとものような印象も受けてるんですけど。

それでも、いろんな仕事って専門性の高いものがある。ほかのことでも、私は議会で意見言ってるんですけど、現場仕事やらない人ばかりだと、仕事のことが分からなくなるんですよね。その懸念があります。

それから、予算のことも聞いたんですが、外注するにしてもどういう基準で何に対してお金を払うのかっていうのが、いま一つ分かんないんですけど、結局、さっきの話だと単純に言えば、何人働くという基準があって、だから幾らだということかなと思ってるので、その点、国の基準なんかあるかもしれないけど、那珂市でなんかももっと考えられないかなと思いました。

あとは、基準の話ですね。一般質問でも言ったけど、何に対してどういう補助をす

るのかっていう基準がもっと分かりやすい形が欲しいなど。いろんなサービスごとに全部個別の基準のもと、それはなかなか難しいところで、いろんなサービスを充実させて一遍にばんと全部のサービスに基準を引き上げるということが難しいわけですから、個々にならざるを得ない部分があるんですけど、それにしても、先ほど言いました、近所に親戚がいるかどうかみたいな基準は、何かやはりもうちょっと、基準を変えたほうがいいかなと思ってます。

以上です。

委員長 それでは、武藤委員。

武藤委員 今回、三つの地域包括さんに来ていただいて、大体やってる内容とかもよく理解しております。

このよく分かったのは、若年性とかね。あと、ヤングケアラーとか、あと、先ほどから言ってる、近所に親族がいるからどうのこうのなんてあたりのところは、やはり改善しなくちゃいけないかなというふうに思っております、その辺りのところ結局のところ、その間に入ってくるケアマネジャーとか、あと要介護認定する方の、そのときの接し方とかが非常に大きいと思うので、その辺りのところは、隔たりをなくして一元化するとか、あとタクシーの問題が随分出てましたけど、本当にこのタクシーの問題は、今度市が、その辺りところを、もうちょっと幅広く支援していかなくちゃならない課題だなというふうに思いますので、その辺りのところを、今後の委員会としても提言していければいいのかなと思います。

以上です。

委員長 それでは、大和田委員どうぞ。

大和田委員 今回の懇談で、今の現状というのを、詳しく知ることができたのかなというところと、やはり我々も多分議員活動していてこういった問題に直面するところが、多々あって、そういったところで、現状と、ケアマネジャー等が感じているところとリンクして勉強になったなって思うんですけども。そういったところでいろいろ課題、要望というのがあったんですけども、先ほどの花島委員からもあったんですけど、市がやったほうがいいとかっていう、あと、ケアマネジャーなんか市の専門職っていう話なんですけども、市の職員からもそういった話聞いたことあるんですよね。実際の職員が専門性の人がいればもっといいんだよな。我々もやはり、異動しなければならんって言うところですから、いたほうがいいよねっていう話も聞いたこともあります。

また高齢者の働き口ですとか、やはり買物難民というか、移動手段がないっていう話もやはり皆さんも聞いたことあると思いますので、できる限り今回の課題について、できるところできないところをちょっと調査をしながら、しっかり市のほうに提言をまとめてしていけたらなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

それでは、古川委員。

古川委員 いずれにしましてもいただいたご要望は物すごく切実な問題で、これは、我々は責任持って行政に伝える。もしくは我々で何か提案する、そういう形にしないと、本当にこれ、やはり那珂市が言ってる住みやすさ、昔からよく言ってますけど、本当の意味で教育だとか福祉だとか、そういったところを充実して行ってこそ初めて僕は住みやすい那珂市だと思ってますので、やはり、絶対我々これちょっと聞いちゃった以上は、これ絶対アクションを起こさなきゃいけないなというふうに思いました。

できるものでできないものがあるのは承知しておりますけども、できないものでもできるように努力をお願いするというのも必要だと思うんで、ぜひそういう形にしていきたいな、いくべきだなというふうに思います。

委員長 ありがとうございます。

では、副委員長。

副委員長 話のやはり要望の点、私たちできちんと精査していかなければならないと本当に思いました。

いろいろ皆さんも言っていましたけども、やはり専門職の方の配置とかっていうのはなかなか難しい話なので、職員の方にその専門的な資格取得のための支援を要望するなり、あとはまた災害時の防災の面のお話もありましたので、その辺が何かやはりできる範囲での連携を考えていかなきゃいけないなっていうところと、やはりお話を伺って成年後見制度の件も私も何か、いろいろ調べたりとはしてたんですけど、実際生の声を聞いて、実際にそういうきちんと制度があって、成年後見制度がつけられるっていうところでもやはり報酬の面での問題があるっていうところ本当つくづく、実際に関わった方の声を聞かないと分からないっていうのがあるなと思いましたので、そのところもきちんとアイデアを出して、市のほうにも要望したりとか、私たちのほうで、それを実行してるところがあればきちんと調査をして、参考にしてそれを上げていきたいなっていうふうに思いました。

委員長 皆さんからいろいろ伺いました。

最後、私のほうからは、今まで皆さん言われたとおり各包括支援センターも同じ悩みやら課題やら、違ったものもお持ちになって、それぞれ最前線で活躍されているというのはよく分かりましたし、課題は提言するっていうか投げる場がなかったんで、私も前々から一応包括支援センターはしょっちゅう行ってまして、聞いておりまして、やはりその忙し過ぎてゆっくり話しする場がないよというのも聞いておりまして、こういうは設けられて本当によかったなというふうに思ってます。

あとは、いただいた課題については、本当に切実な問題を抱えてますんで、ぜひ、当委員会でも調査して、解決の提案をしていきたいなというふうに思ってます。

究極ではありますけれども、娘さん殺しの件もそうなんですけれども、あれに集約

される形にはなるんですけれども、それと市の職員で、専門職を置いてほしいというのもそうですし、実際このままいくとまたオーバーワークになってしまって、大変な状況になってしまうのかなという懸念もちょっと感じられましたので、早い段階でちょっと手を打っていききたいなというふうに思います。

それで、やはりそのどれを調査していくかというところについては、いろんな課題が出ましたけども、どうでしょうね。

当然、全部整理して、介護長寿課のほうには伝え、関係する課のほうにも、要望はしていきたいと思いますので。

じゃ、こちらであれですか、いくつか案を出しますかね。

古川委員 絞るということですか。

委員長 事務局としては、事務局というか、我々のほうで、いずれにしても調査が要るやつと要らないやつあるんで、我々でちょっとできないという部分、ないことではないと思いますけれども。内容については、ちょっと今日聞いた中の項目で考えて、これとこれはどうでしょうかという、ちょっと皆さんほうに提案したいと思います。

ほかにこれやったほうがいいんじゃないのっていうのがあればそのとき決めたいというふうに。これはざっと聞いて印象に残ったのは先ほど皆さん言われたことなんで、多分、五つぐらいあったと思うんですね。

人員体制と専門員を置くですとか予算のところですね。明確にどういう基準でというところもありますし、あとはタクシーの補助の問題も、これ足の部分は非常に重要な問題でございまして、実際その場所を設けても行けないよ、使えないんだよそのサービスがっていうのもこれも大きいんですね。もうちょっと考えなければいかんなどいうところですね。

あとは、そのぐらいかな。

花島委員 全体の委員長、副委員長のほうでまとめるのは、それでいいと思うんですけど、私は何かちょっと難しいなと思ってるのは、菅谷で起きた殺人事件ですよ。

個人情報も入ってるし、詳しい事情を分からない。分からないと、何が問題だったのか、ちょっと対応し切れないと思うんですよ。それをどうしたものかなと。

要するに、踏み込んで調査するべきことなのか。ちょっと私の中で考えが定まらないんです。

皆さんどういうふうにお考えでしょうかね。

いろんなものを見ると、実際に制度とかなんとかに問題あるとかなないとかは別に、思い込んじゃって、突っ走る人が結構多いんですよ。若い人もあるけど、年寄りになると余計そういう傾向の人が増える。

そういうことも含めた、予防策っていうか、地域の人知らなかったって意見は議員と語ろう会に出てんですけど、ある意味では知らないのは当たり前ですよ。付き合いがなかったりすると。

だから行政のほうで一体何ができるのか、この件に関しては、何が問題なのかっていうのがやはり個々の事情が分からないと。そうすると、個人情報ということになる。どうしたもんかな、正直考えがまとまらないです。踏み込んで調べたらいいと思うんですが、一方で刑事事件という関連もありますしね。

皆さんのお考えも聞きたいなと思います。

感情的になんか、何とかできなかつたのかっていうだけでは済まないと思ってます。大和田委員 皆さんの考えということなので、やはりそういった方やはり家に閉じこもっちゃって、誰から手を差し伸べてほしいとも思わないちょっと閉鎖的な場所になっている可能性もあったのかなと思いますので、実際現状としてできるのは、こういった場合は、市は現状を例に例えたとしての、今現状はどのようなことができて、今後こういう場合、こんな行政をこういう対応をとるよっていうことを返答いただければ、その内容について今度はこういうふうにしたほうがいいんじゃないのっていうのは委員会で話すなりっていうところで、あとそのほかについては、やはり正副委員長で少しこう精査してもらって、掘り下げて、提言書なり何なり提出できればなと思います。以上です。

花島委員 さっき個々の事情と言いましたけど、ただその例えば家族に介護しなきゃなんない人が出た場合に、そういうことが、市なりどっかにちゃんと連絡がたって、それで、こういう場合だったらこういうサービスがあるよっていうのは、伝えられるようになってるかどうかっていうのは、調べられると思いますけどね。

それは個人情報に踏み込まなくてもできると思います。

委員長 やはり個人情報の部分については、真相はちょっと難しいかもしれませんが、やはり行政としてやれることっていうのは、どこまでって、それができてたのかどうかってのは、検証しておくべきだと思うんですよ。

例えば民生委員の行動ですとか。それでじゃあ再発防止のためには、こうしたらというところは何とか出せるのかなというのは、我々のほうで意見できるとは思うんですけども。真相に迫ろうとするのは、難しいですよ。

ある程度最終的には、個人情報のところはもう推測部分で、確かにお母さんにしても本当にもう疲れちゃったんだろうなというのは、これには分かりますけども、何でそれほっといたんだっていう話になっちゃうと今度、支援を受けたくないという方もいらっしゃるんで、非常に難しいところがありますけれども、できるだけそこは客観的事実で、どうだったのかなっていうところは聞ける範囲で聞くというところで、やってくほうがいいのかないかなというところはありますね。そこから先はちょっと分かりませんがね。

その辺は介護長寿課に聞くなり、生活保護のまた民生委員さんですかね、聞くのは。当事者にはちょっともう事件、刑事事件になったらちょっと難しいですから。

その辺は取りこぼしと差が支援の中身に出てしまう。この方は支援できるよ、この

方は支援できないと紙一重の差もあるんですね、その辺もちょっと、それはまた違う話になりますけれども一般的に、そういう話も、武藤委員のほうからも話出ましたんで、まとめとして、見ていければというふうには思います。

この調査については、こちらでちょっと項目挙げて、これでちょっと考えたいんですけどという案をお出しします。それで、これについてはこういうふうについていうことで進めていければと思います。

そのようにさせていただきます。

今後、視察とか調査したい内容について希望があれば、お伺いしたいと思いますが、懇談会は1月っていうか予定は、今後お話ししますけれども、視察で新型コロナウイルス感染症も危ないと思っていますんで、オンラインもできますので。

(なし)

委員長 なければあとで言ってください。もしくはこちらから提案しましょう。やはりこれは新型コロナウイルス感染症感染者が増えてるんで、どうなのかなっていうのはありますけれども、対策を講じながら、実際観光旅行はもう始まっていますんで、こちらのほうからまたお知らせいたします。

一応、その調査等視察については12月の教育厚生常任委員会で改めて協議したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでよろしいですかね。

(なし)

委員長 次に、各学校のPTA会長との懇談会について協議をいたします。

9月の常任委員会でPTA会長との懇談会について、こちらからの依頼で開催する形に決定しております。実施の方法については各小・中学校14校のPTA会長と1回での懇談会として、テーマについては、PTA活動の現状と課題ということで、大まかなものを設けて進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(なし)

委員長 じゃ、よろしいということでもいいですね。

議員と語ろう会でも、PTAの役員さんもいらっしゃって、同じ学校同士でもその役員同士が会う機会も減っちゃってというところもありましたし、各学校間での話というぜひお願ひしたいというお話もございましたので、こういう形にさせていただきたいと思います。

ではこれで決定をいたします。

次に日程ですけれども、1月19日午後6時半、皆さんお仕事をPTAの方持たれてるんで、夕方っていうか夜になりますけれども、駄目な場合は1月26日予備日として予定をしております。

この日程でよろしいですかね。

(なし)

委員長 よろしいですか。

1月19日。来年。午後6時半。場所は、ここです。こちら全員協議会室。

今回来ていただくという形になります。

よろしいですね。それで進めたいと思います。

案内については12月に各PTA会長のほうへ発送いたしまして、出欠等取りまとめのほうは、議会事務局のほうでお願いをしております。なお、会長だけじゃなくて代理出席でも可能ということで、案内を提出したいと思います。

この議題については以上でございます。

次の議題は、議員と語ろう会のご意見について、協議をしたいと思います。

10月1日に開催された分です。4会場で行いましたので、それぞれ要望等、ご意見等につきましては、一覧表でまとめてあります。

各担当常任委員会別にですね。これについては今、資料が出てきました。これが各会場でまとめていただいた要望、意見ですね。それぞれの常任委員会別にまとめられております。

いただいた意見や質問等について、対応方法を決めていきたいと思うんですけども、今回事務局のほうで、区分しやすく、①ということで、意見要望として承り、執行部に伝えるもの。

②として、質問内容について調査し回答が必要なもの。

③としては、意見として聞くのみで対応しないものということで①、②、③でちょっと分けていこうかなということで予定をしたんですけども、回答が必要なものに対してどのように調査し回答をつくっていくかということを検討したいと思います。

最後に、委員会として引き続き調査や状況確認を行う必要があるというものについては、その項目についても対応を確認したいと思います。

委員長 まず、総合センターらぼ一で行われました、トータル番号で1番ですね。瓜連中学校の駐輪場は舗装されていない、雨が降って泥だらけになってしまう。教育委員会では、予算がないとの回答では瓜連だけを舗装されていない。

(「1」という発言あり)

委員長 1ですね。

次2番目、那珂大地は開拓精神で眠っている、祖先から受け継がれる何かがあることを小中学生にしっかりと伝え、大地に根ざした子供をつくること。

これは、愛郷教育っていうか、ふるさとの教育ですね。これはお伝え…

(「3」という発言あり)

委員長 意見ね。

(複数の意見あり)

委員長 はい。

次が3番目。プログラミングの教育法、高校生卒業では遅い。小学校、中学校から

始まったほうがよい。またプログラミングやICT支援みたいな方を雇ったりするのはなるべくボランティアで行っていただきたい。

花島委員 プログラミングを使った仕事を長くやっていたんですが、全く同意できない。プログラミングで何が必要かっていうのは、特に高度なプログラムに関しては論理的なんですよ。だから、慣れろとかそんなのは。ただ、そういう意見があったというのを別に伝えるのは構わないわけで。

委員長 これ、今やっていますよね。
(複数の発言あり)

委員長 現状は、もうすでに始まっていますからね。小学校で。中学校も。
(複数の発言あり)

古川委員 小学校で教えるプログラミングなんて、技術者の技術なんて必要ないよね。

委員長 必要ない。先生が教えられるから。

古川委員 すでに小学校でやっているし。那珂市は。

これ、指導要領の中に決められてるものであって、特殊な何かものを造るとかそういう技術じゃないわけですから。ICT支援員っているじゃないですか、那珂市。そういう人は有償だけれども、やはりきちんと教育の中での授業としてできる人でないと。ただ、ボランティアで俺そういうプログラミングやってから教えてやるよっていうような、問題じゃないような気がするんだけどね。

委員長 これは、二つね。プログラミングは早いほうがいいというのと、プログラミングICT支援みたいな方はボランティアで、費用の面ですよ。

花島委員 これは意味がよく分からない。なぜボランティアがいいのか。
(複数の発言あり)

委員長 これは意見として。

古川委員 たぶんほかの市町村だと思うんですけど、そういうプログラミングを仕事でやっていた方が定年で辞めて、そういう方が町の中にたくさんいるんだから、そういう方にボランティアでやってもらったほうがいいんじゃないかって話。

ただ、僕はさっきも言ったように、そこまでの技術は必要としないので。

委員長 これは何番にしますか。
(「3」という声あり)

委員長 3。

古川委員 小学校から始まったほうがいいっていうのについては、これもう始まっていますから、これは別にいいと思います。

委員長 次4番目で、高齢者への移動販売のご提案っていう、これはやってくれっていう話ですね。前、一般質問でもあったな。
(複数の発言あり)

委員長 委託でやってもらうか。ちょっとどれだけ困ってる人がいるかによるんだけど、

あれですね。伝えるか。

古川委員 弱者対策の一つでしょ。

委員長 今日出た高齢者対応の足ということにも絡んでくるので、移動販売も含めて。

副委員長 需要があれば…

委員長 需要があればすぐ。今や薬局とかね、カスミ、コンビニでも配達するところあるしね。

(複数の発言あり)

委員長 生協もそう。あとはコンビニ拡大だとかっていうのもね。配達。スーパーもそうですけども。一方で、元気でいてほしいんであんまり自宅までお届けして、どっか行って買って帰るっていう、そういうのもやってほしいなっていうのもあるんですけど。

古川委員 これ、市がやるってことじゃなくて、民間の方にできるならやってくださいってお願いするしかできない。役所がやることなんてできるわけないです。

花島委員 できないわけではないけど…

(複数の発言あり)

委員長 1番にしますか。

花島委員 取りあえず1。

委員長 1番ですね。

次5番、木崎小学校を廃校にしないでほしい。

古川委員 2枚目見ていただきたいんですけど、ふれあいセンターよこぼりの12番から16番かな。この辺はいきなり統合するって言われても困るんだっていう話なんですけど、これについてはそういうお話は今のところありませんと。

もし、出てくるとしても最低でも5年とか10年前に話が出てきますよという話で僕は、これは解決してると思ってるんですね、この意見についてはね。

この、戻ってこの木崎小学校の廃校にしないでほしいとかどういうことなのか、よく分かんないですけどその場にいなかったんで。同じような話だとすれば、これはあくまでも意見として聞くべきのような気がします。

花島委員 伝えといてもいいんじゃないですか。

古川委員 そういう声がありますっていうことは。

ただ、ふれあいセンターよこぼりのクエスチョンについては解決してますよって話。

委員長 ここは伝えていくにしましょう。学校教育課のほうにはね。

1番。

よろしいでしょうか。

(なし)

委員長 次に、高齢の方は、家に閉じこもってしまっていて健康維持が難しくなっている。今日も話に出ましたけれども、いろんな支援策があります。

これ、7番の両宮遊歩道の有効活用というのにも絡んでくるんですけども、高齢

者が健康増進のため歩くような、そういう使い道をたててほしいよねなんていう話がありましたのでこう書いてますけども。これは総務生活常任委員会にも言ってます。

その有効活用っていうのは遊歩道、いろんなイベントやったりなんだりってのもあるでしょうし、散歩として使ってくださいね。ただそれが額田の人が使えるかっていうと。

花島委員 ただ、駐車場はあるからね。

委員長 PRも必要だし、あるっていうのも知らない人もいるんで。

あと、額田の人がわざわざ両宮遊歩道まで行くかっていうのもちょっと。

花島委員 まさにそれはあります。

委員長 ニュアンス的にはうらやましいねって、ちょっと何かその利用価値がないような気がするって話だったんで、もう少し。実際はイベントもやったりしてるんで。

(複数の発言あり)

副委員長 ご夫婦で歩いている方多いですよ。

委員長 これは、あれかな。お伝えする。有効活用してくださいね。

古川委員 6、7、8一緒に。

だからその高齢者の健康維持の一つとして、両宮遊歩道なんかも有効に活用してほしい。

委員長 というのとあとはこれ介護長寿課のほうには、さっきの6、7、8話は一緒に、こういう話がありますよとお伝えすると。

6、7、8は、1番。

(「はい」という声あり)

委員長 9番。

これ、今日出ました話です。だから、一応調査研究しておかないとまずいですね。

花島委員 2番。

委員長 取りあえず調査ということ。回答も必要ですね。

では10番。

これ、電磁波に弱いお子さんもいるという話。

古川委員 1番でいいでしょう。

花島委員 確かに、電磁波に弱いつて言っている人はいるんだけど、本当かな。

委員長 要するにその電磁波で健康障害があるよっていう話らしいんですが、両極端なんです、専門家の意見って。悪いよっていう人と、そんな影響ないよっていう人と。

副委員長 昔から電子レンジがどうか。

委員長 電子レンジもそうですし、いろんな電子機器っていうか電化製品もそうなんですけど。

花島委員 電子レンジは物すごいパワーだから、携帯電話なんか比じゃないですからね。

ただ、一応遮蔽されている。それでもそうやっていろんな話があつて、ただ、携帯電

話も5Gになるとかなり強い電波を使うらしいんです。もうちょっと具体的なデータがないと。

(「3」という声あり)

委員長 3。

11番。これは今国のほうで奨励している、町とかコミュニティは30とか40とか50とかそういう世帯でぼんつくっちゃって、そこへ、医療とか介護、全部サービスがついて、安心して暮らせます老後は。そういうまちをつくりましょうという、これ国の施策でもあるんで、笠間市にできてるって話なんでまだ見には行ってないんですけど。

花島委員 見学しろということ。

委員長 見学したほうがいいよって君たちはということで、ご提案をいただいたので。

花島委員 笠間市はいつ頃できたんですか。

委員長 最近。まだ新しいみたいです。

花島委員 あんまり新しいとあれかな。

委員長 結果がどうだっていうのはまだちょっと。あとはクラインガルテンだったかな。

農業しながら、セカンドハウスっていうか、2年なら2年、そこで住んで、体験できるっていう制度も。そこはもうずっとやっていますんでね。

それは笠間市にもあります。それは移住者養成っていうか、そういう人たちを集めるためにやっています。

(複数の発言あり)

委員長 我々のほうで状況見てくればいいっていうところがあると思うんですけど。

古川委員 見学ができるものなんですか。

委員長 見学はできると思いますので、ちょっとまだ確認はしてないんですけど。クラインガルテンは、見学ができます。

(複数の発言あり)

委員長 見に行くのであれば、なじんでるところと、まだ始まったばかりと両方見とけばいいところですよ。

花島委員 知らないんですが、笠間市のCCRCって、これは笠間市がやっているんじゃない、笠間市にある。

委員長 笠間市にあります。

花島委員 市がやっているわけではない。

委員長 国の施策だなこれは。国と市も協力していくらか出していると思います。10の10で全部国ではなかったはずだな。

宿題。

古川委員 アパートみたいなのに、みんなして住みましょうってことでしょ。

委員長 アパートもあるし空き家の再利用だとかもあるし。

古川委員 何年前の教育厚生常任委員会で、新潟のこうゆう施設見た気がする。武藤委

員が委員長の時に。

(複数の発言あり)

古川委員 議員と語ろう会の1、2、3じゃなくて、4として、今後委員が調査事項とするもの。深く勉強するものということで、4でいいんじゃないの。

委員長 それを設けて、委員会で。

古川委員 これ議会に勉強してねって言ってるんでしょう。

委員長 そうですね。深掘して。

古川委員 委員会として少し調査してもいいんじゃないですか。回答するというより、勉強しなさいと言っているんだから、勉強しましょうよ。

委員長 今後調査しますという回答ですよ、それは。

11は、4番。今後委員会で調査ということで、項目設けて4番にします。

次のページ、12から木崎小学校、額田小学校、これ統合はいきなりやるということを設定しないで事前に連絡をいただきたいということで、今の0歳児も6年後、急に統合になるようになっていうことは言わないでほしいということなんでこれは、回答は済みですね。

古川委員 こういう意見があったよということで、1でいいんじゃないですか。

委員長 12から16はね。

17番、小中一貫教育、これもいい制度ですよというお話なので、小さな子供たちと大きい子供たちが一緒に交流ができて、成長してくっついていうのはいいですねっていう話ですので、これは、ご意見がありましたでいいんじゃないですかね。1番。

18番。これも、3。伝えたほうがいいか。こういう声がありましたよということ。

10番と一緒にすもんね。

こちら18番の発言者は気にされている。PTAの方でした。こういうことも、お伝えしておきます、これは。

19番。これも意見として出ました。

(複数の発言あり)

委員長 どこに伝えるか。ご意見として伝えたいと思いますけれども、どうしようないです。

古川委員 新型コロナウイルス感染症に関係なくすべて。

委員長 そうです。では、3。

(「3」という声あり)

古川委員 実際に、コールセンターでは、そういう苦勞をしている。

委員長 大変でしたよっていう話なんです。

20番。これは20、21は一緒です。

20、21は、1番ですね。

一応1、2、3、4を設けましたので区分をいたしました。

先ほどの9番の話につきましては、12月定例会の常任委員会でその調査結果の報告と回答なりの決定を行いたいということに予定したいと思っておりますので、今の9番の話については調査しますとしていきますか。そういう回答になるということですね。調査の内容、どういうふうにするという話はまた継続中、調査をやっていきますということになりますので、その具体的などころまではまだ進めないけれども、調査しますということですのでよろしいですよ。

(なし)

委員長 では、4番に変更いたします。

あとは、回答が必要な対応を検討してまいります。

12月の定例会で回答内容までもらわなきゃいけない。

次長 なんらかの形で、質問者の方に回答が必要なものがあれば、調べて回答を出すという形で、これから委員会で調べていきますということでもいいですし。結果が出ないものもあると思いますので。

花島委員 委員会で調べていくという。

委員長 そういう回答になりますね。

古川委員 調べていくという回答。

菅谷の娘さんを殺害してしまった事件を調査するわけじゃないよね。知らないっていうことが問題だということ。自治会の衰退になってしまうということですよ。

委員長 それも問題だし、その制度として市としてできるところ。支援のところが大きいですよ。知らないというのもありますけれども。

古川委員 一人暮らしの高齢者の健康面を考えてくれというそういう調査する必要がある。

委員長 困ってる人に対してどういう手を差し伸べられるかと。民生委員も断られちゃう、本人が嫌だっという場合もあるし、はねられちゃう人もいるし、収入の段階で、いろいろで、それはそうだったのかというのが一つ分かんないんで。

支援の手がいていたにもかかわらずってことなのか。その辺をちょっと、事実だけちょっと調べておかないとまずいよねっていうのはあるんですよ。

古川委員 その辺を含めて調査しようと。

委員長 そう。

それで、回答が必要なものは2番。2番はなかったか。

ということは、あとは伝えればいいということですね、取りあえず。

そういうことでしたよね。

次長 1番にしたものは、執行部に伝えるものなので…

委員長 これも執行部で回答を出してくる場合もあるからね。

次長 回答までは求める予定はないので、こういう意見がありましたと伝えて、ちょっと文章的に、いくつかの項目まとめるのであればまとめたりとか。

委員長 このまま伝えるかどうかについてもありますよね。

次長 ここだと、21項目ありますけども、同じようなことが出てきて、それを伝えるっていうんだったら、一つにまとめていただいて、最終的に教育厚生常任委員会として伝えるものをまとめていただければ。12月のときに。

委員長 12月の時にまとめればいいの。

次長 12月の時にまとめたものを皆さんに了解までいただきたい。今回2番にしたのはないので、とりあえず12月までに調べて回答をつくるというものはないので。

委員長 あとは、だから重複してるところだよ、12とか16をね。これをまとめると。意見として伝える場合。

副委員長 1だけ、対応して、4は報告みたいな感じですかね。

委員長 そうですね。調査しますという報告をしてそれから具体的なアクションをしていく。

以上ですね。

では、整理しますと1番については、重複項目もありますのでそれをまとめておくということと、あと4番のものは、今後調査をしていくということで、12月のときに報告したいと思います。

重複のところはこちらでまとめておきます。

次長 最終的に議会運営委員会のほうに提出。

委員長 それはいつまでだっけ。

書記 教育厚生常任委員会だと12月13日にあるんですけども、12月16日に議会運営委員会がありますので、そこで議会運営委員会のほうに報告という流れになります。

委員長 遅くとも12日だね。

書記 ある程度、形にできたものを常任委員会に出していただいて、皆様のご了解をいただいたら、議会運営委員会に提出になります。

委員長 じゃあ常任委員会の前だから、11月の末までにまとめて、皆さんに取りあえず案としてお配りするという事で予定をさせていただきます。

それでは最後に、もう議題はないんですけども、議員と語ろう会については、1番の項目をまとめて、11月30日までにまとめて、皆さん取りあえず案内を出していくと。12月の常任委員会で決定をするということですね。で、議会運営委員会のほうへ報告すると。

あと、今回のご意見の中で、何か委員会として調査を行うべきものはないですよ。ありますか。今回の議員と語ろう会で出てきたやつは二つですよ、調査は。2項目。そのほかありましたら。

(なし)

委員長 では、ないようですので、以上のように決定をいたします。

以上で、本日の教育常任委員会を終了といたします。

大変ご苦労さまでした。

ありがとうございました。

閉会（午後4時46分）

令和4年11月30日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 寺門 厚